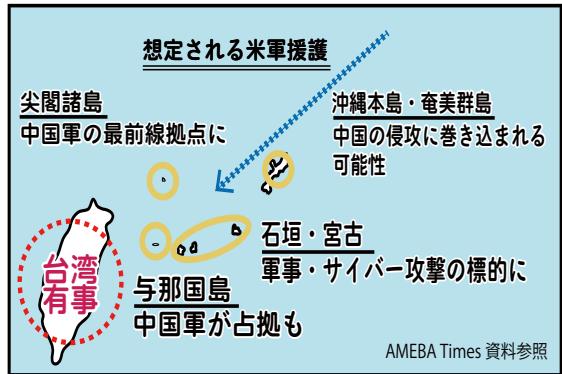


【特集】田米姐 vs 中國
EEN < のミサイ

台灣有事が 日本有事となる現実

中国軍は米国のペロシ下院議長の台湾訪問に対抗し、8月4日から台湾を取り囲む空海域で、台湾侵略を想定した軍事演習を実施しました。初日には与那国島に近い日本の排他的経済水域（EEZ）に弾道ミサイル5発を撃ち込みました。共同通信は中国筋の情報として、EEZへの撃ち込みは習近平自身の決断であると報じました。EEZ



25年前の第三次台湾海峡危機で米軍は、現場に空母機動部隊を配置しましたが、今回は空母などを台湾東方の海域に待機させただけで、ペロシ下院議長を乗せた米軍機は南シナ海を迂回して飛びました。それでも、米国は議会上院の民主・共和の有力議員が6月中旬、台湾をNATO非加盟国の

近接する与那国島や石垣島など八重山諸島の離島住民の有事の避難体制が確立されていないことも大きな問題です。

石垣市の中山義隆市長は、台湾から難民が漁船などで押し寄せてくることや、中国の工作員が紛れて入ってくる恐れも指摘しています。政府の責任は重大ですが、真っ先に動く必要がある沖縄は、「戦争を想定することは

「よくない」として本気で取り組もうとしません。玉城県政を支える左翼陣営は「自衛隊基地があるから狙われる」という論理のすり替えに終始しています。

政府にとつては、台湾の2万人余の邦人保護のために、台灣政府との交渉窓口を確保することも喫緊の課題です。

注目の米議会

「台灣政策法案」



台湾シンクタンク主催
「安倍元首相オンライン講演

シンケタンク主催
田元首相オンライン講演

は国連海洋法条約により、船舶の航行などを除き、漁業や石油掘削、資源調査などの経済活動を他国に邪魔されずに行動する水域です。

安倍元首相は昨年末、「台湾有事は、日本有事であり日米同盟の有事でもある」と喝破しましたが、その危機が現実のもにして迫っています。

9月末の一曰中国交正常化50年」を控え、腰がひけています。外務事務次官は東京にいる駐日大使に、「深夜だった」との理由で、呼び出さずに電話で「抗議」。カンボジア出席・ASEAN外相会議に出席していた林芳正外相は翌日夜の記者会見までコメントトさえ出しませんでした。

(62)に、元宜野湾市長で自民・公明推薦の佐喜眞(さきま)淳氏(57)が4年前に続いて挑み、元衆院議員の下地幹郎氏(60)も出馬予定です。注目の争点は米軍普天間飛行場の名護市辺野古への移設問題です。佐喜眞氏は「辺野古の工事は認めざるを得ない」と明言。普天間飛行場返還はすでに実現するとし、「玉城

主要な同盟地域に指定する「2022台湾政策法案」を提出し、その成否が注目されています。

一方、日本は、自から国を守るという覚悟を試されているにも拘わらず、

佐喜真氏が共産「**有事の危機**」背に沖

選事知輝導の現職と対決へ

「有事の危機」背に沖縄知事選

ライブ配信のご案内 (事後視聴も可能)

者追慎国民集会」

「戦歿者追悼国民集会」
8月15日(月)午前10時25分より配信
田久保忠衛(日本会議会長)
山谷えり子(参議院議員) 他

<https://youtu.be/3NWWK618Snw>
「第8回感謝の心をつなぐ青年フォーラム」
8月15日(日)13:30~15:10
<http://youth-forum.com>

サキマ淳 政策発表ダイジェスト



サキマ淳
政策発表ダイジェスト

「知事は裁判を繰り返すだけで、政治の役割を果たしていない」と批判しています。玉城陣営を支える「オール沖縄」では昨年秋、沖縄経済界の金秀（かねひで）グループが離脱。玉城知事が衆院議員時代だった時から支援してきた現職の議長も離れました。この議長はネットニュースの取材に「保守の部分が抜け、革新共闘とも言うべき実態。特定の政党の意向が非常に強く反映されるようになつた」と、共産党の影響力が強まつたことを批判しています。